

議事概要	
会議の名称	令和7年度長久手食育推進支援会議
開催日時	令和8年2月16日(月) 午後2時から午後3時4分まで
開催場所	会議室棟 会議室H
出席者氏名	委員 青山、安達、齋藤、日比野、丸山、松田、水野、増村  事務局 みどりの推進課長、同課課長補佐兼農政係長、同課主事
傍聴者人数	なし
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	議題 (1) 会長、副会長の選出について (2) 食育関係各課の取組状況について (3) 令和7年度食育イベントの取組結果について (4) 令和8年度食育イベントの取組内容について (5) 食育推進計画改定に関するアンケートについて (6) その他
問い合わせ先	長久手市建設部みどりの推進課 農政係 電話0561-56-0620 内線347
備考	

## 1 あいさつ

議事に先立ち、事務局みどりの推進課長よりあいさつ  
長久手食育推進支援会議設置要綱（以下「設置要綱」という）第6条第2項の規程により、会議成立を報告した。

## 2 議題

### (1) 会長・副会長の選出について

令和7年10月1日付けで委員を委嘱し初めての会議であるため、資料1の委員の互選により会長を決定、会長の指名により副会長を決定した。

### (2) 食育関係各課の取組状況について

#### <事務局説明要旨>

令和8年1月16日に開催された令和7年度食育推進部会の結果を中心に、現行計画である第3次長久手市食育推進計画の各課の取組状況について、資料2に沿って報告した。

#### <発言要旨>

委員：4-1アの健康推進課の取組で、令和3年度に養成講座を開講。5年に1回程度開催予定とあるが、開催はされないと前回の会議で指摘したと思うがどのようなか。

事務局：再度確認する。

委員：1-1カのみどりの推進課の取組で、概要には高齢者向けの活動を支援する内容が記載ある中で、実施された取組の対象者は、高齢者向けのイメージではなく、どちらかという親子連れ向けのものだと認識している。そのためここが記載内容と合わないと思う。

事務局：開催したイベントの目的が若い世代が調理する機会の創出となっているが、今後対象の幅を広げ、目的を全世代とすることも検討していきたい。また、部会の中でもそれを議題としてあげ、何ができるのかを模索していきたい。

会長：夏に西の共生ステーションで30分の食事教室を2回開催した際に、水野委員にも協力してもらったが、男性の参加者がいなかった。

委員：真菜の普及も大事だが、高齢男性はお米の研ぎ方も分からない方がいらっしゃる、そういう方達向けに、みどりの推進課だけでなく様々な課で取組んでいくことができれば良いと考える。

### (3) 令和7年度食育イベントの取組結果について及び(4) 令和8年度食育イベントの取組内容について

#### <事務局説明要旨>

資料3、3-1及び4に沿って、今年度実施した食育イベントの報告をし、次年度にみどりの推進課が担当する新規事業の取組について、検討した。

#### <発言要旨>

会長：前の議題の際にもあった、目的について、このイベントを定例化しても問題は無いが、目的の変更は考えないといけない。

委員：実施内容は良いと思うが、参加人数が10名前後となっており、広く周知させるためには、もう少し違う手段で知ってもらう機会を作っていくことができればと思う。中学生は授業等で育てているのでよく知っており、それ以外の世代の人たちに広められたら良いのではないかな。

事務局：みどりの推進課窓口でも真菜の種の配布を行っている。

委員：それは知っているが、そこまで足を運ぶ人は少ないのではないかな。それなら、市民課の窓口等にも置かせてもらえるなら、多くの人目につくと思う。また、真菜の現物もJAやめぐりん村に行っても限られたタイミングでしか見かけない。

委員：私の周りでも、種をもらっても育てられないという方は結構多い。プランターを使って、どのように種をまいたら良いかといった育て方や作り方を伝えられると良いかもしれない。団地のベランダでも育てられる身近なものといったことも含めて、伝えられると認知度が広がるかもしれない。また、私が所属している団体でも餅つきを行うが、200人程集

まる中でも、もちをつける方はほとんどいない。返し手とセットで初めてできるものになるので、日本古来の伝統であるこの食文化を継承するために、そのようなところにも着目してもらえると粋が広がり、面白いのではないか。

委員：既にプランター等に植わっている物を正面玄関に置くことで、来庁された人にも周知できると思う。

事務局：文化の家の敷地に真菜を植えてはいる。PRについては順次拡大していきけるように、様々な方法を考えていきたい。

## (5) 食育推進計画改定に関するアンケートについて

### <事務局説明要旨>

令和8年度に行う食育推進計画改定に関するアンケートについて、資料5を用いて説明した。

### <発言要旨>

委員：問33の質問の仕方では片方を知っている人もいれば、どちらも知らない人がいる場合があるため、分けた方が良い。また、単に知っているかだけではなくて、食べたことがあるかや調理したことがあるかといった具体的なところまで聞いた方が良い。

事務局：前向きに検討していく。

会長：このアンケートは計画のベースラインにも現計画の評価をするものにもなるため、次の計画にどのようなことをいれていくかを踏まえアンケートで聞いていかないと新しい目標が出てこないことになる。どのようなところに注目をしていくのか。国においては、食農教育の推進と大人の食育が目標として出てきており、生産と消費の距離を縮める施策があり全体的に農業寄りになっている。

事務局：あぐりん村が本市にはあるため、次の計画にどのようにこの施設を明記していくかを考えていくことが、国や県の計画にも沿った物に繋がっていくと考える。

委員：問23については、何を意図して聞いているのか。漠然としすぎており一体何を聞いているか分からない。

事務局：聞き手の方が、何を意図して聞いているのか不明な質問ではいけないことや聞き手の解釈によって回答が変わってしまうのは、アンケートの効果が低下してしまうため、ここについては具体的にしたいと思う。

委員：問37の親子エコクッキングはこの課がどのような内容を実施しているのか。また、小学生クッキングはどの年代を指しているのか。

事務局：ここのアンケート質問部分における各課の取組は把握していないため、アンケートの内容で明確にするかどうかは不明だが、回答者が理解しやすいものに変える。

委員：アンケートを出す以上みどりの推進課が把握していなければ、いけないと思う。

会長：アンケートについて、再度見直しをしないといけない。

国や県の計画が出た後、その内容を踏まえて見直しはかけるか。

事務局：アンケートの案も県の計画内容と整合性をとらないといけないため、それに合わせブラッシュアップし、また委員の皆様にも会議の場ではないにしても、投げ込みをさせていただくことも検討する。

(6) その他について

<事務局説明要旨>

食育推進計画の改定スケジュールや次回の支援会議の開催予定等について説明した。

以上